

「日本標準産業分類」大・中分類項目新旧対照表（調査対象業種）

旧(平成14年改定以前の日本標準産業分類)		新(平成19年あるいは25年改定の日本標準産業分類)		備 考
大分類	中分類	大分類	中分類	
A 農業	1 農業	A 農業、林業	1 農業	
			2 林業	
B 林業	2 林業			→A農業、林業へ
C 漁業	3 漁業	B 漁業	3 漁業(水産養殖業を除く)	
	4 水産養殖業		4 水産養殖業	
D 鉱業	5 鉱業	C 鉱業、採石業、砂利採取業	5 鉱業、採石業、砂利採取業	
E 建設業	6 総合工事業 7 職別工事業(設備工事業を除く) 8 設備工事業	D 建設業	6 総合工事業 7 職別工事業(設備工事業を除く) 8 設備工事業	
F 製造業	9 食料品製造業 10 飲料・たばこ・飼料製造業 11 繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く) 12 衣服、その他の繊維製品製造業 13 木材・木製品製造業(家具を除く) 14 家具・装備品製造業 15 パルプ・紙・紙加工品製造業 16 印刷・同関連業 17 化学工業 18 石油製品・石炭製品製造業 19 プラスチック製品製造業 20 ゴム製品製造業 21 なめし革・同製品・毛皮製造業 22 窯業・土石製品製造業 23 鉄鋼業 24 非鉄金属製造業 25 金属製品製造業 26 一般機械器具製造業 27 電気機械器具製造業 28 情報通信機械器具製造業 29 電子部品・デバイス製造業 30 輸送用機械器具製造業 31 精密機械器具製造業 32 その他の製造業	F 製造業	9 食料品製造業 10 飲料・たばこ・飼料製造業 11 繊維工業 12 木材・木製品製造業(家具を除く) 13 家具・装備品製造業 14 パルプ・紙・紙加工品製造業 15 印刷・同関連業 16 化学工業 17 石油製品・石炭製品製造業 18 プラスチック製品製造業 19 ゴム製品製造業 20 なめし革・同製品・毛皮製造業 21 窯業・土石製品製造業 22 鉄鋼業 23 非鉄金属製造業 24 金属製品製造業 25 はん用機械器具製造業 26 生産用機械器具製造業 27 業務用機械器具製造業 28 電子部品・デバイス・電子回路製造業 29 電気機械器具製造業 30 情報通信機械器具製造業 31 輸送用機械器具製造業 32 その他の製造業	
G 電気・ガス・熱供給・水道業	33 電気業 34 ガス業 35 熱供給業 36 水道業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	33 電気業 34 ガス業 35 熱供給業 36 水道業	
H 情報通信業	37 通信業 38 放送業 39 情報サービス業 40 インターネット付随サービス業 41 映像・音声・文字情報制作業	G 情報通信業	37 通信業 38 放送業 39 情報サービス業 40 インターネット付随サービス業 41 映像・音声・文字情報制作業	
I 運輸業	42 鉄道業 43 道路旅客運送業 44 道路貨物運送業 45 水運業 46 航空運輸業 47 倉庫業 48 運輸に附帯するサービス業	H 運輸業、郵便業	42 鉄道業 43 道路旅客運送業 44 道路貨物運送業 45 水運業 46 航空運輸業 47 倉庫業 48 運輸に附帯するサービス業 49 郵便業(信書便事業を含む)	
J 卸売・小売業	49 各種商品卸売業 50 繊維・衣服等卸売業 51 飲食品卸売業 52 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 53 機械器具卸売業 54 その他の卸売業 55 各種商品小売業 56 織物・衣服・身の回り品小売業 57 飲食品小売業 58 自動車・自転車小売業 59 家具・じゅう器・機械器具小売業 60 その他の小売業	I 卸売業、小売業	50 各種商品卸売業 51 繊維・衣服等卸売業 52 飲食品卸売業 53 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業 54 機械器具卸売業 55 その他の卸売業 56 各種商品小売業 57 織物・衣服・身の回り品小売業 58 飲食品小売業 59 機械器具小売業 60 その他の小売業 61 無店舗小売業	

「日本標準産業分類」大・中分類項目新旧対照表（調査対象業種）

旧（平成14年改定以前の日本標準産業分類）		新（平成19年あるいは25年改定の日本標準産業分類）		備 考
大分類	中分類	大分類	中分類	
		L 学術研究、専門・技術サービス業	71 学術・開発研究機関 72 専門サービス業(他に分類されないもの) 73 広告業 74 技術サービス業(他に分類されないもの)	新設
M 飲食店、宿泊業	70 一般飲食店 71 遊興飲食店 72 宿泊業	M 宿泊業、飲食サービス業	75 宿泊業 76 飲食店 77 持ち帰り・配達飲食サービス業	
		N 生活関連サービス業、娯楽業	78 洗濯・理容・美容・浴場業 79 その他の生活関連サービス業 80 娯楽業	新設
		O 教育、学習支援業	81 学校教育 82 その他の教育、学習支援業	
N 医療、福祉	73 医療業 74 保健衛生 75 社会保険・社会福祉・介護事業	P 医療、福祉	83 医療業 84 保健衛生 85 社会保険・社会福祉・介護事業	
O 教育、学習支援業	76 学校教育 77 その他の教育、学習支援業			
P 複合サービス事業	78 郵便局(別掲を除く) 79 協同組合(他に分類されないもの)	Q 複合サービス事業	86 郵便局 87 協同組合(他に分類されないもの)	
Q サービス業(他に分類されないもの)	80 専門サービス業(他に分類されないもの) 81 学術・開発研究機関 82 洗濯・理容・美容・浴場業 83 その他の生活関連サービス業 84 娯楽業 85 廃棄物処理業 86 自動車整備業 87 機械等修理業(別掲を除く) 88 物品賃貸業 89 広告業 90 その他の事業サービス業 91 政治・経済・文化団体 92 宗教 93 その他のサービス業 94 外国公務	R サービス業(他に分類されないもの)	88 廃棄物処理業 89 自動車整備業 90 機械等修理業(別掲を除く) 91 職業紹介・労働者派遣業 92 その他の事業サービス業 93 政治・経済・文化団体 94 宗教 95 その他のサービス業 96 外国公務	L 学術研究、専門・技術サービス業へ L 学術研究、専門・技術サービス業へ N 生活関連サービス業、娯楽業へ N 生活関連サービス業、娯楽業へ N 生活関連サービス業、娯楽業へ
R 公務(他に分類されないもの)	95 国家公務 96 地方公務	S 公務(他に分類されるものを除く)	97 国家公務 98 地方公務	
N 分類不能の産業	99 分類不能の産業	T 分類不能の産業	99 分類不能の産業	

産業廃棄物行政組織等調査 調査票C			
記入者氏名		パスワード	

↑

調査票記入要領に記載の6文字のパスワードを入力してください。

令和元年度	NO.25(1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条第9項、第10項)

(1) 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画書等

該当なし	
------	--

←調査項目に該当せずに空欄で提出される場合は、「〇」を記入してください。

業種		計画書提出事業場数	実施状況報告書提出事業場数
1	農業、林業		
2	漁業		
3	鉱業、採石業、砂利採取業		
4	建設業		
5	製造業		
6	電気・ガス・熱供給・水道業		
7	情報通信業		
8	運輸業、郵便業		
9	卸売業、小売業		
10	学術研究、専門・技術サービス業		
11	宿泊業、飲食サービス業		
12	生活関連サービス業、娯楽業		
13	教育、学習支援業		
14	医療、福祉		
15	複合サービス事業		
16	サービス業(他に分類されないもの)		
17	公務(他に分類されるものを除く)		
18	その他(1～17に該当しないもの)		
計		0	0

*「業種」について

「日本標準産業分類」が平成19年11月に改定され、大分類において、「学術研究、専門・技術サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」が新設されました(平成25年に再改定がありましたが、大分類中分類に変化はなし)。一方、林業は「農業、林業」の業種となりました。

旧分類で計画書や実施状況報告書を受け取っている場合は、Q分類のサービス業の割り振について、①多量排出事業者の業態が明らかであれば、新分類の項目に割り振ってください。②業態が不明であれば、新分類のRサービス業として提出ください。「記入にあたって」をご参照ください。

主な改定内容は、シート「新旧対照表」をご参照ください。
中・小・細分類項目新旧対照概要表は、総務省統計局

総務省統計局「中・小・細分類項目新旧対照概要表」

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangvo/19index.htm

注1 計画書提出事業場数：産業廃棄物処理計画を作成し報告された事業場数である。(令和1年6月30日までに提出することとなっている計画書の提出のあった事業場数)

注2 実施状況報告書提出事業場数：産業廃棄物処理計画実施状況報告書を作成し報告された事業場数である。(令和1年6月30日までに提出することとなっている実施状況報告書の提出のあった事業場数)

令和元年度	NO.25(2)－1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

1) 農業、林業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－2)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が①より少ない場合⇒⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

2) 漁業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑬の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－3)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

3) 鉱業、採石業、砂利採取業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－4)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

4) 建設業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－5)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が①より少ない場合⇒⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

5) 製造業
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－6)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

6) 電気・ガス・熱供給・水道業

単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉢 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－7)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
（2）多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①・(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①・(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①・(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

7) 情報通信業 単位:トン/年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後の 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－8)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

8) 運輸業、郵便業 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－9)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)・⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)・⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が①より少ない場合⇒⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

9) 卸売業、小売業 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鉱 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－10)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が①より少ない場合⇒⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

10) 学術研究、専門・技術サービス業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－11)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

11) 宿泊業、飲食サービス業
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 産業物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－12)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

12) 生活関連サービス業、娯楽業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－13)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

13) 教育、学習支援業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鉢 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－14)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・②・③・⑦・⑨・⑩）、⑨が①・②・③・⑦・⑨・⑩）、⑩が①・②・③・⑦・⑨・⑩）より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫・⑬・⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

14) 医療、福祉
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鉢 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 産業物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)～15)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑧が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

15) 複合サービス事業
 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
織 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2) - 16)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑩より少ない場合⇒②～⑩の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

16) サービス業（他に分類されないもの）
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
産業物の種類															
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 産業物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)～17)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
 ・④が(⑤+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

17) 公務(他に分類されるものを除く)
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)－18)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条第9項、第10項）
(2) 多量排出事業場の産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の9による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。
 ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
 ・④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
 ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
 ・⑥が①・(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①・(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①・(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑥～⑩のセルが赤く表示
 ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
 ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

18) その他（1～17に該当しないもの）
 単位:トン／年

産業物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち再 生利用業者へ の委託量	⑬⑩のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	⑭⑩のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ の処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥															
廃 油															
廃 酸															
廃 アル カ リ															
廃プラスチック類															
紙 く ず															
木 く ず															
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず															
ガラスくず・コンクリートく ず及び陶磁器くず															
鋳 さ い															
が れ き 類															
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
 注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
 注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.25(2)～ 19)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

25. 産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条第9項、第10項)
(2)多量排出事業場の産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の9による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

19) 合計 単位:トン／年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	⑩直接及び 自ら中間 処理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
燃 え 殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚 泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 油		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 酸		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃 アルカリ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紙 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
織 維 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴ ム く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金 属 く ず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鋳 さ い		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
が れ き 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ば い じ ん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画（法第12条の2第10項、第11項）
 (1) 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等（種類別）（様式第2号の14による実施状況の報告）（令和1年度提出分）

該当なし ←調査項目に該当せずに空欄で提出される場合は、「○」を記入してください。

業種		計画書提出事業場数	実施状況報告書提出事業場数
1	農業、林業		
2	漁業		
3	鉱業、採石業、砂利採取業		
4	建設業		
5	製造業		
6	電気・ガス・熱供給・水道業		
7	情報通信業		
8	運輸業、郵便業		
9	卸売業、小売業		
10	学術研究、専門・技術サービス業		
11	宿泊業、飲食サービス業		
12	生活関連サービス業、娯楽業		
13	教育、学習支援業		
14	医療、福祉		
15	複合サービス事業		
16	サービス業（他に分類されないもの）		
17	公務（他に分類されるものを除く）		
18	その他（1～17に該当しないもの）		
計		0	0

＊「業種」について
 「日本標準産業分類」が平成19年11月に改定され、大分類において、「学術研究、専門・技術サービス業」及び「生活関連サービス業、娯楽業」が新設されました（平成25年に再改定がありました）。大分類中分類に変化はなし。一方、林業は「農業、林業」の業種となりました。
 旧分類で計画書や実施状況報告書を受け取っている場合は、Q分類のサービス業の割り振について、①多量排出事業者の業態が明らかであれば、新分類の項目に割り振ってください。②業態が不明であれば、新分類のRサービス業として提出ください。「記入にあたって」をご参照ください。
 主な改定内容は、シート「新旧対照表」をご参照ください。
 中・小・細分類項目新旧対照概要表は、総務省統計

総務省統計局「中・小・細分類項目新旧対照概要表」

<http://www.soumu.go.jp/toukei-toukatsu/index/seido/sangyo/19index.htm>

注1 計画書提出事業場数：産業廃棄物処理計画を作成し報告された事業場数である。（令和1年6月30日までに提出することとなっている計画書の提出のあった事業場数）
 注2 実施状況報告書提出事業場数：産業廃棄物処理計画実施状況報告書を作成し報告された事業場数である。（令和1年6月30日までに提出することとなっている実施状況報告書の提出のあった事業場数）

令和元年度	NO.26(2)－1)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

1) 農業、林業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
廃水銀等																
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－2)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

2) 漁業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害 廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
廃水銀等																
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－3)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

3) 鉱業、採石業、砂利採取業 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況												
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量
廃棄物の種類															
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
感染性廃棄物															
特定	廃PCB等														
	PCB汚染物														
	PCB処理物														
	指定下水汚泥														
有害	鉱さい														
	廃石綿等														
	燃え殻														
廃棄物	ばいじん														
	廃油 （金属を含むもの）														
	汚泥 （金属を含むもの）														
	廃酸 （金属を含むもの）														
	廃アルカリ （金属を含むもの）														
	廃水銀等														
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－4)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～④より少ない場合⇒②～④の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑥+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑥+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

4) 建設業

単位:トン/年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況														
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
感染性廃棄物																	
特定有害廃棄物	廃PCB等																
	PCB汚染物																
	PCB処理物																
	指定下水汚泥																
	鉱さい																
	廃石綿等																
	燃え殻																
	ばいじん																
	廃油 （金属を含むもの）																
	汚泥 （金属を含むもの）																
	廃酸 （金属を含むもの）																
	廃アルカリ （金属を含むもの）																
	廃水銀等																
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－5)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

5) 製造業

単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
廃棄物	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－6)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

6) 電気・ガス・熱供給・水道業		単位:トン/年														
廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－7)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

7) 情報通信業

単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況														
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
感染性廃棄物																	
特定有害廃棄物	廃PCB等																
	PCB汚染物																
	PCB処理物																
	指定下水汚泥																
	鉱さい																
	廃石棉等																
	燃え殻																
	ばいじん																
	廃油 （金属を含むもの）																
	汚泥 （金属を含むもの）																
	廃酸 （金属を含むもの）																
	廃アルカリ （金属を含むもの）																
	廃水銀等																
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－8)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

8) 運輸業、郵便業

単位:トン/年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
廃棄物	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－9)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～④より少ない場合⇒②～④の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑥+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑥+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

9) 卸売業、小売業		単位:トン/年														
		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－10)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

10) 学術研究、専門・技術サービス業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
有害	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
廃棄物	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－11)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

11) 宿泊業、飲食サービス業		単位:トン/年														
廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間 処理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－12)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が①-(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①-(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①-(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

12) 生活関連サービス業、娯楽業 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後の 残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
廃棄物	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－13)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

13) 教育、学習支援業

単位:トン/年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
廃棄物	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－14)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

14) 医療、福祉

単位:トン/年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残存量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
有害	指定下水汚泥															
	鉍さい															
	廃石綿等															
廃棄物	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 (金属を含むもの)															
	汚泥 (金属を含むもの)															
	廃酸 (金属を含むもの)															
	廃アルカリ (金属を含むもの)															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－ 15)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が⑥・⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が①・②・③・⑦・⑨・⑩)、⑨が①・②・③・⑦・⑧・⑩)、⑩が①・②・③・⑦・⑧・⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が⑫・⑬・⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

15) 複合サービス事業

単位:トン/年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
廃棄物	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－16)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑧+⑩))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑧+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

16) サービス業(他に分類されないもの) 単位:トン/年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
有害	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石綿等															
廃棄物	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
廃棄物	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－ 17)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ④が(⑥+⑦)より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ⑧が(①-(②+③+⑦+⑨+⑩))、⑨が(①-(②+③+⑦+⑥+⑨))、⑩が(①-(②+③+⑦+⑥+⑨))より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ⑩が(⑫+⑬+⑭)より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

17) 公務(他に分類されるものを除く) 単位:トン/年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定有害廃棄物	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
	鉱さい															
	廃石棉等															
	燃え殻															
	ばいじん															
	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況 : 様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類 : 分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－18)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

以下の場合、理論値計算と一致しないため、セルが赤く表示されます。赤く表示された場合、記入した数値が正しいかご確認をお願いいたします。

- ・①が②～⑭より少ない場合⇒②～⑭の該当するセルが赤く表示
- ・④が⑥+⑦より少ない場合⇒④、⑥、⑦のセルが赤く表示
- ・④が⑤より少ない場合⇒⑤のセルが赤く表示
- ・⑧が①-(②+③+⑦+⑨+⑩)、⑨が①-(②+③+⑦+⑧+⑩)、⑩が①-(②+③+⑦+⑧+⑨)より多い場合⇒⑧～⑩のセルが赤く表示
- ・⑩が⑪より少ない場合⇒⑪のセルが赤く表示
- ・⑩が⑫+⑬+⑭より少ない場合⇒⑫～⑭のセルが赤く表示

18) その他(1～17に該当しないもの) 単位:トン／年

		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間処 理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃棄物の種類																
廃油																
廃酸																
廃アルカリ																
感染性廃棄物																
特定	廃PCB等															
	PCB汚染物															
	PCB処理物															
	指定下水汚泥															
有害	鉱さい															
	廃石綿等															
	燃え殻															
	ばいじん															
廃棄物	廃油 （金属を含むもの）															
	汚泥 （金属を含むもの）															
	廃酸 （金属を含むもの）															
	廃アルカリ （金属を含むもの）															
	廃水銀等															
計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。
注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。
注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。

令和元年度	NO.26(2)－19)
コードNO.	#N/A
都道府県・政令市名	#N/A

26. 特別管理産業廃棄物多量排出事業場の産業廃棄物処理計画(法第12条の2第10項、第11項)
(2)特別管理産業廃棄物多量排出事業場の特別管理産業廃棄物発生量等(種類別)(様式第2号の14による実施状況の報告)(令和1年度提出分)

19) 合計 単位:トン／年

廃棄物の種類		排出量の 目標値	計画の実施状況													
			①排出量	②自ら直接 再生利用し た量	③自ら直接 埋立処分又 は海洋投入 処分した量	④自ら中間 処理した量	⑤自己中間 処理のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら中間 処理した後 の残さ量	⑦自ら中間 処理により 減量した量	⑧自ら中間 処理した後 再生利用し た量	⑨自ら中間 処理した後自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	⑩直接及び 自ら中間処 理した後の 処理委託量	⑪⑩のうち 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫⑩のうち 再生利用業 者への委託 量	⑬⑩のうち 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
廃油			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃酸			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定 有害 廃棄物	廃PCB等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB汚染物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB処理物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定下水汚泥		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉱さい		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃石綿等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	燃え殻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃油 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	汚泥 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸 （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃アルカリ （金属を含むもの）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃水銀等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

注1 特別管理産業廃棄物排出量の目標値：様式第2号の14の第1面にて実施状況報告のなされた、「特別管理産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況：様式第2号の14の第2面にて実施状況報告のなされた、「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類：分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。